

総合的な探究の時間（昼間制）

本校の総合的な探究の時間では、6つの文化講座、2つのスポーツ講座を実施しています。

① 演奏法

<目 標> 楽器演奏を通して音楽の楽しさを感じながら自己を表現する。

<活動内容> リコーダー、キーボード、ギター、ドラムのいずれかの楽器を選択し自分の演奏したい楽曲を練習して仕上げる。



② 時事研究

1. 新聞コラム（毎日・東京・朝日新聞）の文章を書写して内容をまとめる。
2. 興味関心のある新聞記事を選び、記事の切り抜きを行い、プリントに貼る。
 - ・記事の内容を簡単にまとめて書く。
 - ・記事について調べたことや感想を書く。



③ 美術

<目 標> 美術に関わる幅広い視点で自分の探究課題や目標を設定し、考えを深めながら活動に取り組む。

- <活動内容> ・趣味として行っている、機動戦士ガンダムプラモデルの改造。
その元になるデザインのスケッチを描いている。機体自身の動線を邪魔しない機能美と、洗練されたデザインの追及をしている。
- ・画用紙にポケモンのキャラクターたちを描いている。生活を彩り豊かにするキャラクターたちとの時間を通して、文化の持つ癒しの力を感じ取っている。
- ・オートバイのプラモデル製作を通して、一つ一つのパーツに対する解像度を上げ、そこに宿る機能の美学を追体験している。やすりがけなどにもこだわり、作製技術の向上も図っている。



④ 生活

＜目 標＞探究の見方・考え方を働かせ、生涯学習の視点で捉えた生活に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする。

＜活動内容＞「生活」をテーマにしたハンドメイド制作を行っています。マスコット、ミサンガ、アクセサリなど各自が作りたい作品を制作し、計画性や創造力を養います。

1. 企画・アイデア出し

- 目的の明確化：「自分用」「友人へのプレゼント」「学校生活で使えるもの」など、制作の目的を決めます。
- デザインスケッチ：作り作品の完成イメージを紙に描き出し、必要な材料や道具をリストアップします。

2. 材料の調達と試作

- 予算と調達：限られた予算内で必要な材料をリスト化し、調達経路（文房具店、手芸店、100円ショップなど）を決定します。
- 試作（プロトタイプ）：初心者向けのキットや動画を参考に試作を行い、制作にかかる時間や技術的な課題（難易度）を把握します。

3. 制作（本番）

- 作業計画の作成：総合的な探究の時間の持ち時間に合わせて、制作スケジュール（設計、パーツ作り、組み立て、仕上げ）をカレンダー等に落とし込みます。
- 安全管理：カッターや針、接着剤、アイロンなどの道具を安全に使用します。

4. まとめ・評価

- 振り返りシート：計画通りに進んだか、工夫した点、苦労した点、完成度の自己評価などを記録します。
- ミニ発表会：制作した作品をクラスメートの前でプレゼンテーションします。作品のコンセプトやこだわりのポイントを言語化します。



⑤ 文学研究

＜目 標＞探究の見方・考え方を働かせ、文学に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする。

＜活動内容＞・読書に親しみ、感想や意見をまとめ、そこから文体の特徴や効果について考察する活動。

・図書館を活用し、情報収集・考察・評価の方法について学び、作品に関連した事柄について自分の考えをまとめる活動



⑥ 数理探究

＜目 標＞探究の見方・考え方を働かせ、数学や理科に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする。

＜活動内容＞・身近な物や現象について疑問を見つけ、自身の考えた方法で調査・研究を進めていく。

・調査・研究によって分かったことについて、パソコン等を利用し、ポスターにまとめる。



⑦ バドミントン

<目 標> 探究の見方・考え方を働かせ、生涯学習の視点で捉えた文化・スポーツに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする

<活動内容> ・ 1 時間は体操、ランニングを行ってから練習を6つのコートに分けて練習する。
・ 1 時間は、くじ引きで年齢、性別不問で試合をリーグ戦形式で行い、コミュニケーション能力を身につける。



⑧ 卓球

＜目 標＞探究の見方・考え方を働かせ、生涯学習の視点で捉えた文化・スポーツに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする。

＜活動内容＞

【前半：課題解決型アプローチ（1時間）】

体操、ストレッチ、ランニング等の準備運動後、各自が設定した技術的・戦術的な課題に基づき、プレースタイルや習熟度に応じた複数の卓球台に分かれて自律的な課題練習を行う。

【後半：協働的な対戦アプローチ（1時間）】

受講生の中から、各自が自分の課題や目的に応じた相手（またはペア）を主体的に探索・交渉して選定し、リーグ戦や練習試合を行う。対戦相手との関わりを通して、戦術の構築やゲーム運営に必要なコミュニケーション能力、協調性を身につける。

【まとめ：振り返りと内省（各時間の最後など）】

活動記録（リフレクション）を通して、練習や試合で発見した新たな課題、多様な他者と関わる中での気づきを論理的に振り返り、生涯スポーツの意義や自己の在り方生き方について思考を深める。

